



## 二学期始業式 各代表あいさつ

ぼくの、二学期の目標は、二つあります。一つは、テスト対策をしっかりとすることです。一学期の期末テストでは、まったく勉強をしていなくてあんまりよい点数がとれなかったもので、しっかりとテスト対策をして納得のいく点数がとれるようにがんばります。

二つ目は、あいさつを心がけることです。一学期は、先生が通っていてもあいさつをしなかったり、先生からあいさつをするということがありました。なので、これからは、自分から積極的にあいさつをするよう心がけます。

また2学期は、級長として、一学年の模範になるように頑張りたいです。

一学年代表 嘉陽心良

長かった夏休みも終わり、今日から二学期が始まります。

私は二学期の知・徳・体の目標を次のように立てました。

知ではまず、目の前に迫った実力テストに向けて、テスト対策に万全を期して取り組んでいきたいです。

徳では、私たち一組の目標でもある、「人にやさしく」をみんなが心がけていきたいです。

体では、健康管理に気を配り、コロナに負けない体力づくりに努めていきたいです。

私達二年生は、進級して、成績が伸びた人がたくさんいます。

授業態度も、昨年よりはよくなりましたが、まだまだ、なおしていくべきところもたくさんあります。

PBL発表会や社会見学などの行事にも、一人一人が協力して、楽しんでいける二学期にしていきたいです。

二学年代表 徳元美胡

私たち三年生は、一学期の反省から二つ改善していかなければなりません。「授業態度」と「休み時間の過ごし方」です。

授業態度では、授業中のけじめをつけ、私語をせず、人の話をしっかりと聞き、真剣な

態度で取り組みたいです。また、休み時間に遊びに夢中で二分前着席ができていない人がいました。マナー、決まりを守り、落ち着いた態度で生活していきたいです。

二学期には修学旅行や合唱コンクールが予定されています。コロナウイルス感染拡大によつて予定通りに行事が行われるかわかりませんが、「三年生」という自覚を持ち、たのしく、けじめのある二学期にしたいです。

三学年代表 上原虎太郎

夏休みが終わり、いよいよ二学期が始まります。新型コロナウイルス感染拡大のため、様々な場面で感染に気をつける日々が続いています。

私達生徒会役員は、高嶺中学校の生徒が学校生活を楽しむために、様々な行事を企画・運営しています。二学期も高嶺中学校を盛り上げるために頑張りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

2学期の生徒会行事としては、ハロウィン仮想コンテストやクリスマス演奏大会、新生徒役員選挙などが計画されています。僕は特にクリスマス演奏大会に力を入れて、今年との関わりのみではなく、先輩や後輩といった学年を超えた交流ができたらと思っています。

各種専門委員会においても、読書月間や未来ノートコンテスト、3つの誇りコンテストや美化活動、募金活動など様々な取り組みが行われます。各自がそれぞれの役割をこなし、高嶺中学校全校生徒が楽しく、安全な学校生活が過ごせるように、みんなで頑張っていきたいと思います。

生徒会代表 二年 金城和宏

## 三学年「糸満市役所見学」を終えての感想

市役所見学

宮平信臣

8月30日、僕は糸満市役所に行きました。糸満市役所で何を学んだかというと議会に入り三年一組の安嗣さんと代表の人たちが発表していました。僕が発表したら緊張して何回もかんでたかもしれないに安嗣さんと

か代表の人たちは緊張もせずにハキハキしゃべっていてカッコイイと思いました。多分僕はもう議会の中には行けないと思うけど8月30日で学んだ事を家族にも教えてあげたいです。この2022年8月30日で学んだ事をどうやって活かしていくかはまだ分かりませんがもうちょっとだけ大人になってから分かるんだなーと僕は思いました。まだまだ子どもなのでむつかしい事は分かりませんがどうやってこれから活かしていくかをこれからも考えていきたいです。貴重な体験ありがとうございました。

見学を通して学んだこと

伊敷美佑

私たち三年生は八月三十日の五、六校時に糸満市役所の見学に行きました。

私が見学を通して学んだことの一つ目は、学校教育課についてです。学校教育課には学務係と指導係の二つに分けられていました。学校教育課では学校の整備や就学、入学、転入学の申し込みなどを行っていました。私はすべてその学校の校長先生が決めていたものだと思いました。でも学校教育課の人たちのおかげで学校が成り立っているということをおぼえました。二つ目は議場のことでした。議場とは糸満市のことについて選ばれた代表の人たちで話し合いをするところだと分かりました。

これからの生活では、大人になって議員を選ぶ時があったら面倒くさいからって適当に選ばないでこの人だったら糸満市をまかせていいと思う人を選びたいと思いました。

## 講話「すごい人になれる方法」を終えての感想

3年 下地真虎

おとこの授業でスゴイ人になる方法を琉球大学教育学部教授の道田泰司先生に習いました。

道田康先生が言うにはスゴイ人になるには失敗から学ぶといっていました。スゴイ人になった選手なども失敗から学んでいるのでそれでスゴイ人になれたんだということに気づきました。

なので自分も道田泰司先生が言っていたように失敗を経験してスゴイ人になれるように頑張りたいなと思いました。

いままでは失敗したら落ちこんでいたけど失敗が経験につながると知ったので落ちこまずに前向きにとらえていこうと思いました。

3年 石川周作

私は、9月20日にすごい人になれる方法の授業を受けました。

琉球大学教育学部教授の道田泰司先生という方が教えてくれました。この授業では、すごい人になる方法をショウヘイさんやジョーダンさんなどの有名でそれぞれスポーツの世界で輝かしい結果を残している人物の発言から教えてくれました。この2人は成功する方法を何度も失敗してそこから学ぶということを言っていました。

この二人の発言から何かに失敗する原因を探してそこをよくするということが成功の秘訣ということがわかりました。

そこで、今回は、多くの人がテストで間違えた問題をなんで間違ったのか正解率を上げる方法について3年2組で考えました。

そうすると問題のなげまちがったか、こうしたほうが点数が上がるという方法がわかった。なので次に生かせる授業になりました。ありがとうございました。

3年 波平心愛

私が思っていたすごい人は、何でもできて私みたいな人はすごい人には程遠いと思っていました。でも今日話を聞いてみてわかったことは、「学べる人」がすごい人になることがわかりました。

ほかには、なんで失敗したか、その原因は何か、それをどう解決するか？を学びました。私はテストでまちがいがあってもどうしたらいいかわからなくて、何もしてませんでした。でも今日学んだことをノートに書いて間違った原因、そのためには何をしたらいいのかを書いて勉強をしていきたいと思いました。

私が今日聞いたことを今日から実践していっぱい学んで、すごい人になりたいと思いました。